よりよいまちに 一般質問

一般質問とは…議員が市政に対する疑問をただし、執行機関の見解を求めるとともに、自己の意見を述べるものです。枚方市議会では、通常、6・9・12 月の各定例月議会で行われます。

全編の録画映像はこちらから

公益通報者保護制度

市幹部の倫理観に依存する仕組みの改善を

連合市民の会　番匠映仁

議員　兵庫県政の混乱で、公益通報者保護制度が注目されることとなったが、本市において市長が対象の公益通報があった場合の仕組みを聞く。また、市長の本市制度に対する課題認識について聞く。

部長　市長は調査段階で自身が対象者であると認識するが、審査に関与はできず、審査結果は報告時点で知る仕組みである。

市長　通報者が安心して通報できることを第一に適正な制度運用を行うよう改めて指示した。

要望等　本市では、外部専門家を活用しているとはいえ、通報の際、調査要否の判断は、総務部長が行うという。この仕組みは総務部長の倫理観に大きく依存するものであり、兵庫県とほとんど変わらない。トップや幹部の解釈により、事実をねじ曲げられない仕組みに変えるべきであり、早急な体制整備を要望する。

◆その他の質問

○都市計画道路御殿山小倉線の継続した改善を

○自治会館改修等、地域の思いに応えた支援を

駅前行政サービスフロア

利用者の立場に立たず健全な市政と言えるのか

自由民主党議員団　前田富枝

議員　枚方市駅から行政サービスフロアへの午前8時30分から10時の間の動線確保に月26万円の負担金が発生し、しかも、屋根のない中庭を通る必要があるという。市長は、本負担金を了承したのか。

市長　利用者の利便性を考え、了承した。

要望等　年額300万円超の負担額の必要性や妥当性、利用者視点で考えない雨天時に濡れる動線も残念である。健全な市政とは言えないと意見する。

保護者の不安を取り除く議論を（教育支援充実審議会）

議員　通級指導教室の全校設置を進めるというが、同教室の増加により、支援学級や通常の学級との違いが際立ち、ともに学びともに育つという理念が希薄になっていないか。

部長　一人一人のニーズに応え、ともに学びともに育つ教育を進めていく。

要望等　保護者が本市の学校を選択する理由はなぜかといった原点を忘れず、支援教育充実審議会で、不安を払拭する議論を行うよう要望する。

王仁公園プール

施設改修を実施し魅力ある公園の構築を

自由民主党議員団　長友克由

議員　王仁公園幼児用プールの塗装劣化等により、多くの苦情や転倒等の事例があったという。指定管理者は、清掃頻度を増やし対応していたというが、施設改修は、市の責任で行うものでないのか。

部長　6年度の運営は協議の上、清掃での対応とし、7年度オープンまでに市で改修予定である。

要望等　従前からの劣化を改修せず指定管理者の責任とした考えに憤りを覚える。改修を行い魅力ある公園の構築を要望する。

学校へ安全、安心なオーガニック給食導入を

議員　学校へのオーガニック給食の導入には安定供給やコスト等の課題があるというが、市内農業者の協力を得て必要な有機野菜を生産する経済循環を構築すれば可能と考える。市長の見解を聞く。

市長　同給食に関しては、市内経済の好循環という視点が大事だと考える。

要望等　給食無償化を進めるだけでなく、良い食材を使用した安全、安心な給食の実現を要望する。

メンタルヘルス対策

職員の心の健康を守り働きやすい職場づくりを

大阪維新の会 枚方市議会議員団　佐田あゆ美

議員　メンタルヘルス不調に陥る労働者は全国的に増加傾向が続くが、5年度、本市において同要因で長期病気休暇となった職員の割合を聞く。また、継続的なメンタルヘルス対策は、職員の心の健康や、働きやすい職場づくりのためにも非常に重要だが、取組を聞く。

部長　割合は1・22%であり、同対策の計画策定に向け検討を進めている。

要望等　計画策定で終わらず、その内容に基づいた取組の推進を要望する。

聴覚障害のある人がさらに住みよいまちに

議員　「手話でつむぐ住みよいまち枚方市手話言語条例」制定後の手話への理解や普及、ろう者の社会参加促進の取組を聞く。

所長　パンフレット配布やイベント時の手話体験等で普及や啓発に取り組むとともに急な手話通訳依頼に対応できる遠隔手話通訳サービスを始めた。

要望等　同サービスの時間延長や機器増設など、住みよいまち実現のため、さらなる充足を要望する。

里帰り出産時における各種支援の十分な周知を

大阪維新の会 枚方市議会議員団　小池晶子

議員　市民が出産に際し、遠方に里帰りした場合の支援について聞く。

部長　里帰り先から妊産婦健診等を受診した場合の健診費用の助成、オンライン・電話相談の利用のほか、自治体間の調整による里帰り先自治体での保健師等の妊産婦・新生児訪問や乳幼児健診の受診、継続的支援が必要な場合の保健師のサポートを利用してもらえる。

要望等　里帰り出産時の支援について、しっかり周知するよう要望する。

不登校対応　保護者が安心して相談できる体制強化を

議員　6年度から適応指導教室を教育支援センター（＊4）に改称した。その際に強化した機能を聞く。

部長　同センターでの活動の様子を各校の教育支援ルームにオンラインで配信し、不登校児童・生徒が不登校支援協力員等と一緒に活動できるような取組等を行っている。

要望等　保護者が安心して相談できるカウンセリング体制の強化等、より効果的な支援を要望する。

府道京都守口線

拡幅工事を進めるのなら右折可能にする整備を

日本共産党議員団　松岡ちひろ

議員　牧野と高槻を結ぶ淀川渡河橋の建設に伴う交通量増加対策として、府道京都守口線牧野橋交差点、上島町交差点間を4車線にする拡幅工事を進めているが、4車線化に伴い右折による車の出入りができなくなることで、府道以外の進入路がない近隣施設等から不安の声がある。府によると、同橋完成までの間は2車線運用となるという。橋の事業認可のめどが立つまでは、4車線化の工事を停止し、現状の道路運用をすべきだが見解を聞く。

部長　府から、牧野橋以北の道路については、7年度末に完成後、淀川渡河橋が整備されるまでの供用形態は警察と協議中と聞いている。今後も早期の供用開始に向け府と連携して取り組んでいく。

要望等　4車線化の前提として、まずは府と共に安全に右折可能な環境を整えるべきである。

◆その他の質問

○子どもの育ちを応援し良質な生育環境整備を

○楠葉花園町の用途地域変更への理解へ努力を

若者の経済的支援のため新たな奨学金返還支援を

日本共産党議員団　三和智之

議員　多くの若者が平均310万円の奨学金返済義務を抱え社会に出ており、府が実施する企業向けの奨学金返還支援制度導入促進支援金への申請は増加し、人材確保に向け利用ニーズが高まっている。若者がお金の心配をせず学び、本市に住み働くことができれば、まちの活性化にもつながると考えるが、本市独自の制度創設への見解を聞く。

市長　働く若者の経済的負担の軽減や、市内中小企業等の人材確保・定着に必要な施策と考える。

子どもいきいき広場実情に応じた支援を

議員　子どもいきいき広場（＊5）は、地域の特色や多様性を生かして取組が進められてきた事業であり、様々な課題があるものの、地域の熱意に支えられている。本事業を市はどう考えているのか。

部長　子どもの育ちを支える大変重要な事業であり、引き続き事業が継続できるよう支援していく。

要望等　各地域の実情に応じた支援を要望する。

地域公共交通

総合交通計画は実行に移すことが大切

公明党議員団　東実名子

議員　市内バスの減便等に不安の声がある。公共交通維持のためにハード面と共にソフト面でも努力が必要だが、取組を聞く。

部長　公共交通を取り巻く厳しい状況を多様な媒体で多様な利用者へ分かりやすく情報発信するなどにより、公共交通の利用促進の取組を強化する。

要望等　総合交通計画は今後改定されるが、市民が安心、安全に外出できるよう、計画を実行に移すことが大切だと意見する。

アウトリーチ型の家庭教育支援の実施を

議員　子どもへの向き合い方に悩む保護者等へ家庭教育支援として多様な講座を充実させているが、多忙な保護者に対応するため、オンラインでの実施も必要ではないか。

部長　既に一部の講座でオンライン講座を実施しているが、利便性を考慮し拡充に向け検討する。

要望等　孤立しがちな保護者等へ訪問する他市事例がある。市でもアウトリーチ型の家庭教育支援の実施が必要と意見する。

ＪＲ学研都市線沿線

交通網の整備を含め一体的な活性化を

連合市民の会　大津真沙樹

議員　市長は5年の所信表明で、本市を含むＪＲ学研都市線沿線まちづくり協議会において沿線一体のまちづくりビジョンを策定し、まちづくり方策の実施につなげるとしていた。同ビジョンの検討状況、策定を踏まえて本市が想定する取組を聞く。

部長　同協議会では、6年度末のビジョン策定を目指し、住む、働く、訪れるの視点から実現したい沿線像を設定し、取組の方向性を検討している。

本市では、長尾駅周辺のまちづくりによる都市機能の誘導、地域資源を活用した広域観光の推進、地域産業の活性化を見込んでいる。ビジョン策定後は、取組を進めつつ沿線各市やＪＲ西日本との連携可能性を検討していく。

要望等　府道交野久御山線や国道307号など、歩道も含めた交通網の整備に係る同協議会との課題意識の共有、松井山手駅周辺や河内磐船駅・河内森駅間の接続など沿線の一体的な活性化ビジョンを押さえたまちづくりにつなげるよう要望する。

点字議会報・声の議会報を発行しています

目の不自由な方に議会の活動を知っていただくため、「点字議会報」と「声の議会報」を発行しています。
送付を希望される方は、市議会事務局までお申し出ください。
また、「声の議会報」は市議会ホームページでもお聞きいただけます。

声の議会報はこちらから

議員が見てほしい◉◉ポイント💡や思い🔥を10秒でお届け！

動画はこちら！

1日目（9月13日）

①松本佑介　②妹尾正信　③広瀬ひとみ　④一原明美
⑤番匠映仁　⑥前田富枝　⑦佐田あゆ美　⑧松岡ちひろ

組織の横串連携

人口減少を食い止める都市戦略の推進を

自由民主党議員団　松本佑介

議員　第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略における枚方市駅周辺の産業活性化の対象は、第二次産業で正しいのか。

部長　商業やサービス業などを含む、あらゆる経済活動が対象となる。

要望等　同戦略には第三次産業が抜け第二次産業がひもづく、ちぐはぐが生じている。必要な施策を真摯に考えるべきである。第二次産業の育成では、市内企業を市が応援するというイメージ戦略も効果的で、ひらかた万博において市内企業の技術を披露する見本市開催を提案する。一方、第三次産業の創業支援では、人と情報が集積する枚方市駅周辺で時代に即したオフィススペース確保も要する。また、連続立体交差事業で生まれる空間を活用し、枚方宿等のある枚方公園駅エリアと枚方市駅エリアで相互送客できると考える。加えて、自然との共存空間創設等、トップダウンで組織が横串連携し、人口減少を防ぐ都市戦略を推進するよう要望する。

有機フッ素化合物

水道水検査は基準値内不安解消のため周知を

大阪維新の会 枚方市議会議員団　妹尾正信

議員　市内5河川で有機フッ素化合物（PFOS、PFOA）の検査結果が国の暫定指針値を超えたという。淀川は同指針値を下回ったというが、淀川を原水とする本市水道水の検査結果を聞く。

部長　市の水道水の検査では、これまで全て国の目標値を下回っており、検査結果はホームページで公表している。

要望等　市民の不安解消へ、ホームページ以外でも検査結果周知を要望する。

技術職員の人材確保へ戦略的な体制整備を

議員　国家公務員採用試験でも技術職員の定員割れが発生している。従前から要望してきた技術職に特化した就職セミナーを開催したというが、その実施結果を聞く。

部長　同セミナーの参加者18人中10人から本市採用試験に応募があり、効果があったと捉えている。

要望等　技術職員配属部署と職員採用を担う部署が戦略的に人材確保について協議する体制の整備を強く要望する。

教育長の不在解消

適任者の人選と早期の人事議案提出を

日本共産党議員団　広瀬ひとみ

議員　教育長不在が続く中、当該人事議案提出に向け努力をしているのか、1年くらい不在で構わないと考えるのか、同議案はいつ提出するのかを聞く。

市長　教育長不在は解消すべき課題と認識しており、早期の議案提出に向け、人選に努めている。

要望等　教育長は、トップダウンで保護者や教育現場を混乱させるような人物では困る。今回の人選に際し、前回と同じ轍を踏まないよう要望する。

府道交野久御山線歩道整備の現状は

議員　府道交野久御山線の歩道整備の現状を聞く。

部長　同線ＪＲ津田駅付近から国道307号までの歩道がない区間について、6年度末までに府が事業化の可否を判断する。同区間が事業化された際には、用地取得について事業協力を行うなど、府と連携していく。

要望等　同区間の歩道整備は、地域住民の悲願であることから、事業化に向け、取組を強く推進するよう要望する。

デジタルツール活用

認知症MCIの早期発見認知症家族への支援も

公明党議員団　一原明美

議員　高齢者のMCI（＊1）早期発見と支援への要望を重ね、この度、市と医師会、製薬会社が連携協定を結び、自宅においてデジタルツールで脳の健康度測定ができる新事業の実施に至った。認知症となった後の取組も大切だが、認知症のケア技法であるユマニチュードは、本人や在宅介護をする家族の支えになると考える。周知に向けた見解を聞く。

部長　医療・介護関係者の意見や認知症家族の声を聞き、検討していく。

外国人の窓口対応リアルタイムで通訳を

議員　日本語が話せない外国人への窓口対応は、通訳機器を活用しているというが、制度が多岐にわたる場合などでは理解が難しい。テレビ電話機能を使い、オペレーターがリアルタイムで通訳する自治体もあり、安心感や時間短縮にもつながると考えるが、見解を聞く。

部長　今後のデジタル技術等の進展を踏まえつつ、課題を整理しながら対応策の検討を進める。

2日目（9月17日）

動画はこちら！

①田中優子　②奥野美佳　③長友克由　④小池晶子
⑤三和智之　⑥東　実名子　⑦大津真沙樹

ヤングケアラーへの支援継続した周知啓発を

公明党議員団　田中優子

議員　法改正で国や地方公共団体が支援に努めるべき対象にヤングケアラー（＊2）が位置づけられたが、本市での課題を聞く。

部長　より早期に支援につなぐための体制づくりや、18歳を超えても切れ目なく支援を行う連携体制等が課題である。

要望等　ヤングケアラーの問題は表面化しづらい。周囲の大人が正しい認識の下、子どもの状況に気づくための継続した周知や、啓発が大切である。

マイナンバーカード利活用の拡充と取得手法の周知を

議員　マイナンバーカードの利活用拡充で、さらに利便性向上が図られるが、今後の取組を聞く。

部長　市役所での年間件数が比較的少ない手続も電子で行える対象とするとともに、国の動向を踏まえ利便性向上に資するさらなる拡充を検討する。

要望等　医療サービスのDX化の進展を考えると、マイナンバーカードの高齢者への普及は重要であるため、様々な取得手法の周知を要望する。

枚方市駅周辺再整備

⑤街区への消防署設置へ基本計画を再考すべき

連合市民の会　奥野美佳

議員　枚方消防署庁舎の現禁野小学校位置への移転案が突如報告されたが、なぜ、⑤街区（＊3）において建て替える案を検討しなかったのか聞く。

部長　⑤街区では同消防署に必要な敷地面積の確保が難しい。

要望等　大規模災害に備えるためにも、枚方市駅周辺再整備基本計画を見直し、災害対策の拠点となる市役所新庁舎は防災公園に隣接して④街区に整備し、枚方消防署新庁舎を⑤街区内で整備する連鎖的な防災まちづくりを実現すべきと意見する。

子どもが安心して過ごせる環境整備を（家庭守り児童会室）

議員　元年度に建て替え予定の東香里留守家庭児童会室の校舎外専用棟は、実施設計に係る予算が計上されながら不執行とされた。その理由を聞く。

部長　整備費用の負担軽減のため、余裕教室等の活用を図るよう見直した。

要望等　整備未着手で放置され不利益を被っている。子どもが安心して過ごせる環境整備を求める。

2・3面用語の解説

＊1　MCI（Mild Cognitive Impairment）…軽度認知障害。認知症の前段階に当たる状態で、認知機能に低下が見られるものの、日常生活に支障を来すほどではない状態のこと。

＊2　ヤングケアラー…「家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども、若者」のこと。「過度に」とは、子どもや若者が、遊びや勉強などの健やかな成長発達に必要な時間や、自立に向けた勉強や就職準備などに必要な時間を奪われたり、ケアに伴い身体的・精神的負荷がかかったりすることによって負担が重い状態になっている場合を指す。

＊3　街区…市駅周辺再整備では、枚方市駅周辺を①街区から⑤街区までの5つのエリアに定め、再整備を進めることとされている。各街区の位置については左図のとおり。

＊4　教育支援センター…愛称「ルポ」。家庭と学校との中間的な場を提供し、不登校状態にある児童、生徒の社会的自立への援助及び指導を行う場所のこと。